

●3R(スリーアール)とは？

物質の循環を実現し、資源の消費や環境への負荷を少なくする社会を「循環型社会」と呼びます。循環型社会の実現のために必要な取り組みがリデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)。リデュースは「廃棄物の発生抑制」、リユースは「再使用」、リサイクルは「再生利用」を意味します。これらの頭文字をとって「3R(スリーアール)」と呼ばれています。循環型社会形成推進基本法において、この順序が優先順位とされています。



リデュース 【Reduce】

できるだけごみを出さない

- ・買い物袋やマイバッグを持つ
- ・過剰包装を断る
- ・簡易包装商品を選ぶ



リサイクル 【Recycle】

ごみを資源として再利用する

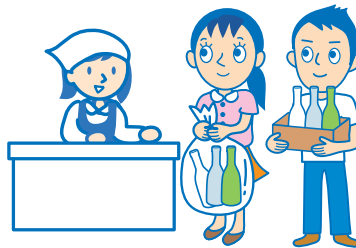
- ・ごみを正しく分別して出す
- ・再資源化に努める

リユース 【Reuse】

くり返し使う

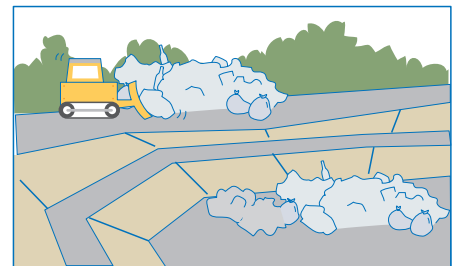
- ・使えるものは何回も使う
- ・別の使い方を考える

たとえば…

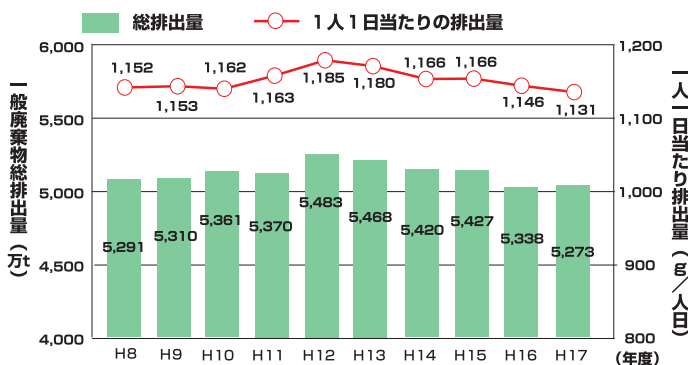


●循環型社会形成の必要性

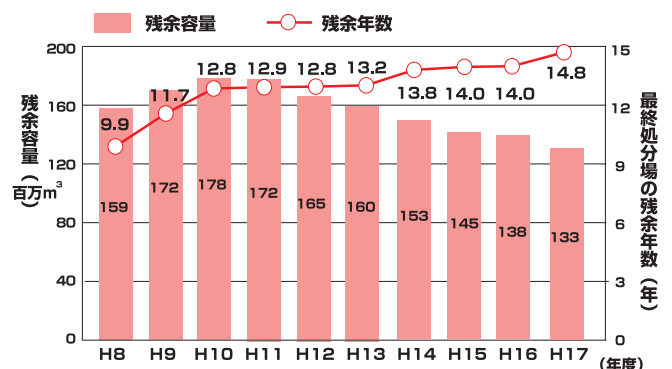
循環型社会を形成するためには、ごみそのものの発生を抑えたり、ごみとして捨てていたものを再使用・再生利用して、処分するごみの量をできるだけ少なくする工夫が必要となります。現在、家庭から出される一般廃棄物の排出量は横ばいの傾向にあります(左下グラフ参照)。また、一般廃棄物最終処分場の残余容量は年々減少しており、残余年数は、ここ数年は、13~14年前後で推移しています(右下グラフ参照)。



■一般廃棄物の総排出量と1人1日当たりの排出量



■一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数



出典：環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成17年実績)」